バージョンアップに伴う機能変更のご案内（2021年2月）

2021年2月に NII FileSender をメジャーバージョンアップ(V1→V2)いたしました。
これまでの NII FileSender V1にはカスタマイズを加え様々な機能を追加しておりましたが、今後は FileSender 開発元のリリースからのカスタマイズは最小限にとどめ最新版ならびに脆弱性への迅速な対応を重視する方針とさせていただきます。
そのため、これまで利用してきた機能の一部の操作が変わったり、利用できなくなったりしております。
ここでは、そのような機能をご案内致します。

目次

- 変更点
  - メールを配信できなかった場合の通知について
  - グループ送信機能が利用できなくなります
  - 送信者のメールアドレス入力機能が利用できなくなります
  - 既定でダウンロード完了時通知メールが受信者へ送られなくなります
  - エンドツーエンド暗号化機能を利用できるようになります
  - 複数のファイルを送受信できるようになります
  - ダウンロード通知を送らずにダウンロードURLを取得できるようになります
  - IdP が送信すべき必須属性が変更となりました
  - （過去の掲載情報）日本語表示について

変更点

メールを配信できなかった場合の通知について

~~現在NII FileSenderバージョン2は、指定したメールアドレスにメールを送信できなかった場合、その旨を送信者（アップロードを行った方）へ通知することができません。~~
~~この対応をどうするかについては現在検討中です。~~
~~なお、いずれにしろ通知可能なのはメール配送を試行した先から通知（いわゆるバウンスメール）があった場合のみであり、この制約は旧版でも変わりません。~~

ファイルの送信時やゲストにバウチャーを送信時に宛先として誤ったメールアドレスを指定し、メールが配信できなかった場合などに、特定の条件で送信者に送信に失敗した旨の通知がされるようになりました（2023年6月）。
詳しくは、メールが配信できなかった場合の通知 を参照ください。

グループ送信機能が利用できなくなります

学認クラウドゲートウェイサービスに作成されたグループのメンバー全員に対して一括してファイルを送信する機能が使えなくなります。
具体的には以下の機能が利用できなくなります。

- グループ宛のファイル送信
- 送信先メールアドレスの代わりにリストからグループを選択すること

これまでOpenIdPアカウントでグループ送信機能を使ってファイルを送信していた場合、バージョンアップ後は送信できなくなります。
代わりに他の（OpenIdPアカウントでない）ユーザからバウチャーを発行してもらうことでファイルを送信できます。
バウチャーの発行は利用マニュアルの「ゲスト利用者からファイルを送信してもらう」をご確認下さい。

NII FileSenderから直接グループに対してメールを送信することはできなくなりますが、個人のメールアドレスを列挙して全員に送ることはもちろん可能ですし、グループ作成に利用された学認クラウドゲートウェイサービスと連携しているサービスの1つに、meatmailというMLサービスもございますのでご利用をご検討ください。

いずれにしましても、バージョンアップ後はファイル受信時に認証・認可が行われませんので、機密情報を送受信する際はダウンロードURLが外部に漏れないよう、もしくは後述の「エンドツーエンド暗号化」を用いた上でパスワードを秘密に保つよう、何卒ご注意ください。

送信者のメールアドレス入力機能が利用できなくなります

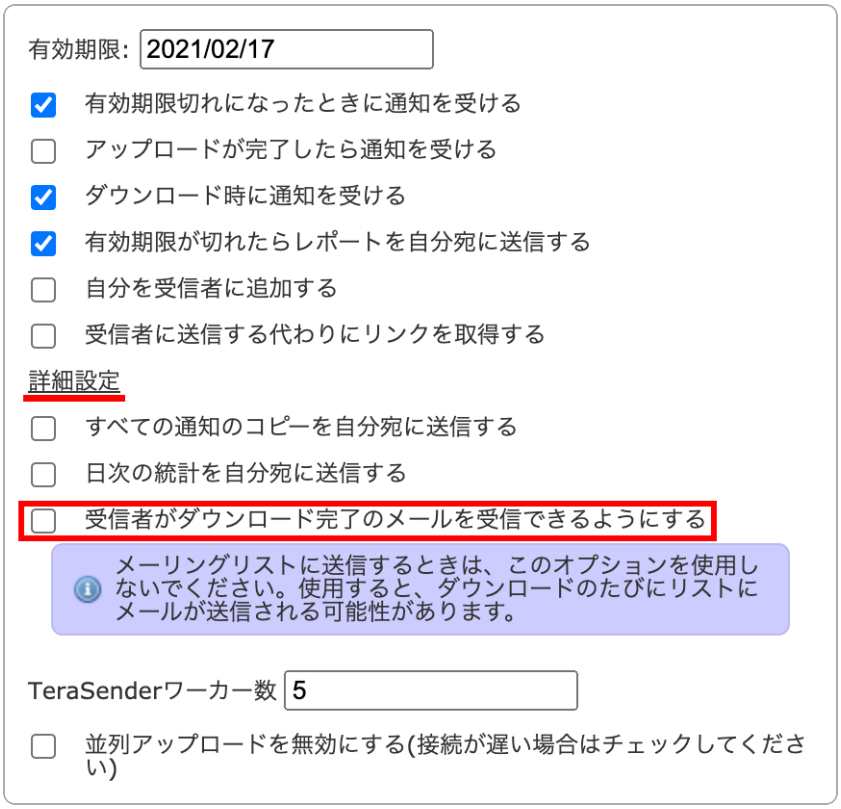
送信者のメールアドレスを任意で指定できなくなります。
送信者のメールアドレスは固定でシボレス認証で IdP から送信された mail 属性の値となります。

送信者のメールアドレスを変更したい場合、後述の「ダウンロード通知を送らずにダウンロードURLを取得できるようになります」に従って
ファイルアップロードの際に「受信者に送信する代わりにリンクを取得する」オプションを有効にすると
アップロード完了後にそのファイルのリンクを取得することができますので、
別途メールソフトを利用して上記のリンクを相手にお伝え下さい。

既定でダウンロード完了時通知メールが受信者へ送られなくなります

ファイル送信時の「受信者がダウンロード完了のメールを受信できるようにする」がオプションとなり既定で無効化されております。このオプションは「詳細設定」内にあり、注意書きに記載もありますが、万一このオプションを有効としてメーリングリスト宛にファイルを送信するとダウンロードのたびに無用の通知がメーリングリスト宛に流れてしまう、という問題が発生してしまいます。

この挙動をV1までと同じ動作にしたい場合は、「詳細設定」をクリックして「受信者がダウンロード完了のメールを受信できるようにする」にチェックを入れてください。



エンドツーエンド暗号化機能を利用できるようになります

ファイルアップロードの際にパスワードを設定して暗号化できるようになります。
暗号化はWebブラウザ上で行われるためアップロードされたサーバー上で中身を覗き見ることはできません。

複数のファイルを送受信できるようになります

アップロード時に複数のファイルを指定できるようになります。
これらのファイルは、アーカイブ形式(zip,tar)の単一ファイルとしてダウンロードできるほか、
アップロードされたファイル一覧から個別に選択してダウンロードすることができます。

ダウンロード通知を送らずにダウンロードURLを取得できるようになります

ファイルアップロードの際に「受信者に送信する代わりにリンクを取得する」オプションが新設されました。これを有効にするとアップロード完了後にそのファイルのリンクを取得することができます。NII FileSenderが直接メールを送信することはありませんので、別途お好きなメールソフトを利用して当該リンクを相手に伝えるなり、メール以外のコミュニケーションツールで相手に伝えるなり、お好きな手段を選択することができます。

IdP が送信すべき必須属性が変更となりました

本項はIdP管理者向けの案内です。

これまではシボレス認証で IdP から送信される属性のうち
ePPN(eduPersonPrincipalName) もしくは ePTID(eduPersonTargetedID) の
どちらか一方が必須となっておりましたが、 ePTID が必須に変更となります。

そのため ePPN のみしか送信しない IdP では認証が通らずサービスを利用できなくなります。

IdPでの設定例はこちら⇒NII FileSenderについて > IdPが送信するべき属性

もし所属機関IdPでNII FileSenderにePTIDが送信されていないことを発見しましたら、本ページを参照していただくようIdP管理者にご連絡ください。

（過去の掲載情報）日本語表示について

~~現在NII FileSenderバージョン2はUIが英語での表示となっており日本語に切り替えることができません。~~→UIの日本語表示も可能になりました！(2月10日)